

# 経済学で再考する行政のあり方【新規研修】



動画

## 研修のねらい

経済学の視点から行政の仕事を改めて見直すことを通じて、行政と経済の関係や施策の価値を再認識し、政策が生み出す将来価値や社会全体への影響を見通す力を養うとともに、業務改善や効果的な資源配分に生かせる実践的な判断力を身につけます。

## 受講対象者

県職員：150人

次のいずれかに該当する職員

- ・令和5年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員
- ・令和7年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和8年4月1日現在25歳以上の職員

市町村職員：50人

主任級以下の職員

## 配信時期：視聴時間

未定

視聴時間：約3:00（予定）

## 備考

- ・カリキュラム内容につきましては、現在調整中の部分も含まれているため、今後変更となる場合がございます。
- ・【県職員のみ】（昇任試験受験要件対象研修）  
※受講後、レポート提出が必要です。
- ・視聴時間はあくまで目安となります。カリキュラムの内容によっては個人ワークが含まれるため、受講者の取り組み状況により、実際の視聴時間は記載時間と異なる場合があります。



## 研修概要

喜治公務員研修所

講師 喜治 都  
喜治 賢次

1. 「経済」を改めて理解する
  - ・ミクロとマクロの視点
  - ・希少性と選択
  - ・インセンティブ
  - ・投資と時間価値
  - ・財政と資源配分
2. 市場と行政の関係
  - ・市場メカニズム
  - ・市場の失敗（公共財・外部性等）
  - ・財政の3つの機能
  - ・国、県、市町村の役割
3. 民間ロジックの理解と行政への翻訳
  - ・顧客価値
  - ・将来価値
  - ・効率
4. 社会状況の変化を経済の側面から捉える
  - ・人口減少
  - ・財政硬直化
  - ・地域競争 ・持続性への寄与
  - ・NPG
5. ケーススタディ



### こんな人におすすめ

- ・経済の視点を持ちたい人
- ・行政の役割を再定義したい人
- ・施策の効果を考えたい人



### 得られるスキル

- ・分析力（限られた資源や制約の中で最適解を考える思考力）
- ・情報収集能力（政策に必要な根拠を経済の視点から収集し活用する力）



### 担当者PR

経済学の基礎を学び直し、行政の仕事を経済の側面から捉え直す研修です。身近な行政の実務を通して理論と実務を結び付け、社会環境の変化の中で行政がどのように考え、判断していくのかを整理します。「経済学に詳しくない」「経済学は行政とあまり関係がない」と感じている方にこそお勧めする、新しい視点が得られる内容です。